

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
振替貯金口座00190-2-97953
©日刊建設通信新聞社 2012

Kinden
きんでん

未来を切り拓く、総合テクノロジ

www.kinden.co.jp/

主なニュース
ダンパーが
ジャッキ
③

- ④ 二松学舎、135周年機に長期ビジョン策定
- ⑤ 横浜都市みらい複合施設、竹中で7月着工
- ⑩ 廿日市の小・中一貫校は今秋に本体発注
- ⑪ 神戸市コンベンションC構想は日本総研

発注・公告

(4、6、7面)

「準会員」で裾野広げる

JIA 会員種別を再編成

日本建築家協会(JIA、菅原太郎会長)は、2014年3月に予定している公益社団法人の認定に合わせて会員種別を再編するとともに、活動の主体・軸を支部・地域会に移す。会員種別は大きく、▽本部総会議決権を持つ本部の執行に関する正会員▽本部の執行に関する権利を持たず、支部・地域会の執行に一定の権利を持つ準会員▽JIAの目的に賛同する協力会員▽名誉会員に再編する。新法人への移行に当たって、本部が会運営のガバナンスを把握していることが求められていることから、すべての会員資格取得は理事会が可否を決定する。ただし、活動の主体を支部・地域会に移す方針とも合わせ、「支部のみ」「地域会のみ」に限定して活動したいという準会員や賛助会員を会員として迎え入れられるよう柔軟に運用していく方針だ。

支部・地域会に活動主体

正会員は、一級建築士の免許登録後、統括的な立場で5年以上の設計監理業務実績が「一級建築士」で構成。また、正会員の定款、建築家憲章に賛同し、倫理規定・行動規範の順守を誓約する「正会員」と、5年以上の正会員2人以上の建築士資格取得者の中で建築

家として最低限の素養と能力を身につけた者を登録建築家としており、その要件を満たさない者はJIA正会員にふさわしくないと判断したことなどが背景にある。

さらに、登録建築家制度との関係では、JIA会員以外も対象にオープン化している

ため、JIAの会員規程の中に登録建築家を直接位置付けることは見送った。また、現在一級建築士資格を持たない正会員は新法人移行後も正会員となり正会員の権利を行使することができるとする。

準会員は、正会員予備軍や正会員とともに公益活動に参加したいという者を会員として迎え入れ、会員の裾野を広げることを目的に整理、再編した。専門会員、シニア会員、ジュニア会員、学生会員で構成する。専門会員は、構造・設備・積算・ランドスケープ・都市計画・行政・教育・研究など建築設計監理の関連領域の専門家。シニア会員は、正会員として20年以上継続し

て活動している者の中で、一定期間建築設計監理業務から離れる会員。ジュニア会員は、一級建築士の免許登録後の設計監理業務実績が5年に満たない正会員予備軍。

協会員は法人協会員と「個人協会員」に整理し、直す。法人協会員はセネコンを除くが、個人協会員は根ざした活動を推進するた

め、全国単一会としてのメリットを生かしつつ活動の主体を支部・地域会に移行する。本部事業を抜本的に見直し、原則、定款で定めた事業のすべてを支部・地域会が行えるようにする考えだ。

そのため、新法人への移行に当たっては本部のガバナンスが求められているため、本部で支部規程や地域会規程を整備するが大幅な増し、支部・地域会の多様性を許容、保持できるように、詳細は各支部・地域会が独自に設ける支部規約で定める。

また、支部・地域会は独自に準会員、協会員を募集することができ、特に支部法人協会員では、総合請負施工を主とする法人は除くが、地域に根ざした専門請負施工者の加入は認める方向だ。

ただし、本部、支部、地域会の関係や位置付けをもっと明確にすべきなどの声もあり、さらに議論を重ねた上で、7月の理事会での関係規程の承認を目指す。

設計審査室長)と考えている。

に踏み込んだ検証も行う。「薄

合せて理由について示す

hs
ロントの

立山ア